

| | | |
|--|---|---|
| <p><第 START 号> 令和8年4月7日(火) 那覇高校 進路支援部 広報係</p> | <p>進路だより</p>  <p>は お う じ ゅ 霸王樹</p> | <p>☆学校長挨拶 ☆4月行事 ☆霸王樹の由来</p> |
|--|---|---|

< 最後は自ら決める力を鍛えるために、本校での学びがある >

新入生の皆さん、数ある高校の中から本校を選んだことを、これからの三年間で「正解だった」と胸を張って言えるものにしてください。入学式を経て、皆さんは那覇高校の一員となりました。在校生ならびに教職員一同、その門出を心より歓迎します。高校生活は待つてはくれません。一日一日を大切に、一歩ずつ着実に本校の環境に慣れていってください。

2年生の皆さん、いよいよ後輩を迎えました。皆さんの姿は、そのまま学校の姿として周囲に映ります。「中だるみの年」と言われることに甘んじるのか、それとも自らを律し、次の段階へ進むのかは皆さん次第です。自覚と責任を持ち、学校を支え、牽引する存在となることを期待しています。

3年生の皆さん、いよいよ進路実現に向けた最終局面です。進路は定まっていますか。来年の4月、自分が立つ場所を具体的に思い描いていますか。その選択に覚悟はありますか。本当にその進路でよいのか、妥協はないか——自分自身に問い続けてください。曖昧な決意で到達できるほど、進路は容易なものではありません。

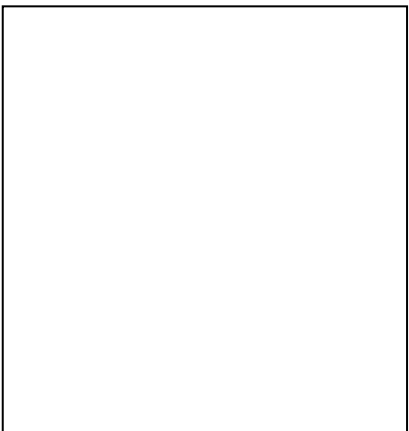
株式会社セブン&アイ・ホールディングス元会長の鈴木敏文氏は、次のように述べています。「人間は過去の延長線上で考えてしまいがちです。それは、その方が楽だからです。昨日と同じことを今日も行い、明日も繰り返す。しかし、楽な方に流れたときから、市場の変化に取り残されていく。できない理由を挙げる前に問い直してほしいのは、それが本当にできない理由なのかということです。」

また、教育研究家の妹尾昌俊氏は、「中途半端に頭のいい人はできない理由を述べたがる。しかし、本当に頭のいい人はその理由を疑い、できる方法を考える」と述べています。

新学期は「変わる機会」ではなく、「変わると決める機会」です。これまでの延長線上にとどまるのか、それとも自らを変えるのか。選ぶのは自分自身です。そして、最後に決断するのもまた、自分自身です。その力を鍛えるために、本校での学びがあります。日々の学びから目を背けることなく、一つ一つ積み重ねていってください。

よし、やってやろう！——そう心に決めた人から、景色は変わります。皆さん一人ひとりの覚悟が、これからの学校生活、そして将来を切り拓きます。

本校の進路便り「霸王樹」は、生徒の皆さんのための進路情報です。受け身で読むのではなく、自らの進路を切り拓くための材料として、主体的に活用してください。



校長 眞榮田 義光



2026年度4月 進路関係行事予定



| | |
|-------------|--|
| 明日 8(水) | 1年生到達度テスト提出日 新入生研修会(1~4校時) 総学:セルフマネジメントに向けて「城岳手帳の活用」 |
| 13(月) | 第1回実力テスト[スタディサポート] |
| 22(水) | 1学期課外講座開始(~7/16) |
| 24(金)・25(土) | 3年生(希望者)第1回全統共通テストマーク模試(河合塾) |



進路だより『霸王樹』の由来

平成23年に「進路だより」の名称を募集し、多くの応募の中から当時の3年生が考えた『霸王樹(はおうじゅ)』が選ばれ決定しました。「霸王樹」は、サボテンのことです。

“雨が降らない砂漠でもしっかりと自分の力で育っているサボテンのように、自立に向けてしっかりと力を蓄える姿勢を持ってほしい。”というコメントがあり、それが決め手になったようです。『霸王樹(はおうじゅ)』になって今年度で14年目になります。この『霸王樹』の名付け親である当時3年生だった生徒が教育実習生として本校にいらした時に、教室に掲示されている『霸王樹』を見て、とても感激していました。確かに、自分が付けた名前がずっと続く事は感動ですよね。那覇高生よ、文武両道に“霸王樹”と成れ！！

* 今年度「霸王樹」でいろいろな進路関係情報を発信します。ご利用よろしくお願ひします！！